

会議概要附属機関等の名称 安曇野市上下水道事業経営審議会

1	会議名	令和2年度 第3回 安曇野市上下水道事業経営審議会
2	日時	令和3年3月19日(金) 午後2時から午後4時まで
3	会場	本庁舎 会議室401
4	出席者	保尊委員、大江委員、臼井委員、中村委員、猿田委員、加々美委員、 清澤委員、二木委員
5	市側出席者	久保田上下水道部長、奥村経営管理課長、横山上水道課長、石川下水道課長 松岡維持管理係長、長崎下水道整備係長、 中嶋庶務担当係長、本郷庶務担当係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年3月23日

協議事項等

○会議の概要

- 1 開 会
- 2 挨拶
保尊会長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 令和3年度予算の概要について
 - (2) 安曇野市下水道事業経営戦略の見直しについて
- 4 その他
- 5 閉 会

○議事の概要

- (1) 令和3年度予算の概要について
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑>

委員：下水道事業会計について、起債の償還金が約30億あり、減価償却費は若干減少傾向であるが、そうすると一般会計繰入金は重要になってくる。一般会計繰入金の今後の見通しは、順調に入れていただける見通しとなっているか。

事務局：企業債は減少傾向になっている。減価償却費については耐用年数が40年となっていることから、減価償却費はなかなか落ちない。一般会計からの繰出金は、新年度予算は約19億円一般会計からいただく。これは、総務省から発表されたルールがあり、ルール分をいただくこととしている。ルール以外の部分もあり、生活保護受給世帯について、基本料金分を市の政策として補填しており年間200万円ほどいただいている。ほとんどはルール分をいただいているが、この先の見通しとしては、100%いただけるよう交渉を進める。

委員：上水道の有収率について、地域ごとに有収率は出ているか伺いたい。以前、明科地域で極端に悪いことがあったので、その後の状況が分かれば伺いたい。

事務局：明科地域は72%前後である。冬季間は有収率が下がる。それは山間部で水が動かないところでは、凍結防止で水を払うため、更に有収率が下がってしまう。

事務局：令和元年度の有収率は81.4%。豊科地域が89.76%、穂高地域が78.87%、三郷地域が81.33%、堀金地域が72.6%、明科地域が73.82%。明科地域は平成30年度が70.77%なので3%ほど上がっている。堀金地域が72.6%と低いですが、令和元年度に漏水調査を行い、復旧を終えて令和2年度は80%までになると予想している。

(2) 安曇野市下水道事業経営戦略の見直しについて

- ① 諮問の解説について
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑>
質疑なし。

- ② 安曇野市下水道事業経営戦略改定スケジュールについて
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑>
質疑なし。

- ③ 安曇野市下水道事業経営戦略改定版について
(資料に沿って事務局から説明)

<質疑>

委員：人口減に伴っての水量の変化はあるが、トイレや洗濯機など機械器具の節水の影響はあるのか伺いたい。

事務局：器具の節水は進化している。水洗便器の場合1回流すと10リットルだったものが8リットルくらいの水で流す。最近はさらに少ない5リットルくらいの水で流すものもある。半分くらいの量で流すようになってきている。

委員：工業団地の発売や宅地の開発など大口業者の動向は検討しているのか伺いたい。

事務局：インター近くの開発や高家の産業団地について、今のところは具体的な話は来ていない。

○その他について事務局から説明をお願いします。

事務局：次回の審議会開催について説明。

以上